

【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第23回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 : AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

整備新幹線の建設・保有を一手に担うほか、民間鉄道の建設や内航船舶の共有建造も手がけており、運輸行政の執行機関として政策上の重要性が高い。整備新幹線は中核都市間を結ぶ大量・高速の交通機関であり、国民経済に不可欠な社会的インフラになっている。

鉄道建設業務のうち、一部の第3セクター鉄道会社向け債権は回収が当初計画通りに進んでおらず、返済条件の緩和に応じているほか、船舶共有建造業務は中小の内航海運業者に対し多額の未収金を抱えている。ただ、こうした問題については国などと一体となって解決に取り組んでおり、第3セクター鉄道会社向け債権残高、内航海運業者向け未収金残高はともに減少している。船舶共有建造業務を抱える海事勘定の債務超過額を見ても、2007年度末には156億円と2006年度末に比べ50億円強減少している。

2009年に入り、整備新幹線の工事費の増額負担を巡って国と地方自治体との対立が表面化した。関係自治体の一部が「国から十分な説明がない」ことなどを理由に負担増を拒否している。一部自治体からは工事費の増加分について新幹線貸付料を償還原資として、機構が有利子借り入れをすることで対応すべき、という意見も出ている。

整備新幹線は地方が建設を望んでいるインフラでもあり、R&Iは今のところ、比較的早期に、国と自治体の間で何らかの解決が図られる可能性が高く、機構の信用力に影響することはないと見ている。しかし、自治体が増加分の負担を拒否し続け、国の対応が遅れる場合には、機構が想定外の負担を強いられる可能性もないとは言えない。事態の進展を慎重に見守っていく。

【格付け対象】

発行者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第23回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	280億円
発行日	2009年3月18日
償還日	2014年3月20日
表面利率	1.13%
格付け	AA(新規)
受託会社	みずほコーポレート銀行
担保	一般担保
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に 基づく受託会社が置かれる

☆発行体格付け：AA [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。